

十

七月廿九日
送海軍大臣
送海軍大臣

爵

立案
明治廿六年七月廿九日
決裁
明治廿六年七月廿九日

局長


爵位
主務

大臣


内事課長

内事課次長



次官

海軍軍醫大監
以下十一名表位、件

官
内
省

明治廿六年七月廿九日
送海軍大臣
送海軍大臣

裏面白紙



海軍軍醫大監從五位勲四等村上典表以下
十一名叙位ノ件
右謹テ奏ス

明治三十六年七月三日

内閣總理大臣伯爵桂太郎

内

閣

明治廿六年七月

内閣書記官

内閣書記官

内閣總理大臣

木

内閣書記官長

海軍軍醫大監從五位勲四等村上典表以下十名ハ高等官在職滿十年以上ニシテ勤勞不少准處令般豫備後備並退職ニ付叙位進階内則第四條ニ依リ特旨ヲ以テ位一級進メラレ然ルヘシ

海軍軍醫大監從五位勲四等

村上典表

海軍造兵中監左

功五級

鶴田留吉

陸軍三等軍醫正六位勲四等

長野省吾

陸軍歩兵大尉左

勲五等

下村濟

退職判事左

勲六等

加藤信存

陸軍歩兵大尉從六位勲五等

菊澤保孝

陸軍砲兵大尉左

勲四等

山本安三郎

陸軍砲兵大尉左

勲五等

淺井一元

退職判事左

勲六等

藤波鏹次郎

陸軍歩兵大尉 正七位勲五等 上杉憲一
陸軍一等軍醫 左 勲六等 栗本益太郎
特旨ヲ以テ位一級被進

從五位勲四等 村上典表
左 功五級 鶴田留吉

敘正五位

正六位勲四等 長野省吾
左 勲五等 下村 濟
左 勲六等 加藤信存

敘從五位

内閣

從六位勲五等 菊澤保孝
左 勲四等 山本安三郎
左 勲五等 淺井一元
左 勲六等 藤波 鋏次郎

敘正六位

正七位勲五等 上杉 憲一
左 勲六等 栗本 益太郎

敘從六位

海軍大監 百十五

村上海軍大監、明治二十年十一月海軍大軍醫ニ任セラシ爾來軍務ヲ奉スルコト十有七年ノ久シキ精勵能ク其職ヲ盡シ功績顯著タル者ニ候處今般年齡滿限ニ依リ後備役ニ編入セラレ現官ニ進級候ニ付テハ此際特ニ位一級進ノラレ度文武官敘位進階内則第四條ニ依リ別紙上奏書進達ス

明治三十六年六月廿五日

海軍大臣男爵山本權兵衛



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

海軍軍醫大監從五位勲四等村上典表

敎正五位
右謹奏

明治三十六年六月廿五日

海軍大臣男爵山本權兵衛



海軍

海軍大臣 第百二十二

鶴田海軍造兵中監ハ明治二十一年三月海軍大技士ニ任セラレ爾來軍務ヲ奉スルコト十有六年功績顯著タル者ニ有之候處本日ヲ以テ現役ヲ退キ候ニ付テハ此際特ニ位一級進メラレ度文武官叙位進階内則第四條依リ別紙上奏書進達ス

明治三十六年六月廿六日

海軍大臣男爵山本權兵衛



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

海軍造兵監從三位勳三等望級鶴田留吉

叙正五位
右謹奏

明治三十六年六月廿六日

海軍大臣男爵山本權兵衛



海軍

裏面白紙

勳位第一八三號

陸軍三等軍醫正長野省吾以下七名特旨叙位之件ヲ
進達ス

明治三十六年六月三十日

陸軍大臣寺内正毅



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

陸軍省

別紙陸軍三等軍醫西正長野省吾以下七名今般退職
被仰付候處本人共ハ高等官ニ任セラレ以去十年
以上在職勤勞不敷候ニ付文武官叙位進階内則
第四條ニ依リ特旨ヲ以テ各位一級ヲ進メラレ度
謹テ奏ス

明治三十六年六月三十日

陸軍大臣寺内 正毅



陸軍省

陸軍省

從五位	世年六月八日	豫備役	陸軍三等軍医正正六位勲四等	長野省吾
正六位	壬午六月一日	後備役	陸軍歩兵大尉正六位勲五等	下村 濟
全	壬午六月廿日	全	陸軍歩兵大尉從六位勲四等	山本安三郎
全	壬午六月廿日	豫備役	陸軍砲兵大尉從六位勲五等	浅井一元
從六位	全	全	陸軍歩兵大尉正七位勲五等	上杉憲一
全	壬午六月十日	全	陸軍一等軍医正七位勲六等	栗本益太郎

裏面白紙

司
法
省

司法省職壹第一三三八號上奏
右執奏有之度候也

三壹件

明治三十六年六月廿日

司法大臣男爵清浦奎吉



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

退職判事進位之儀：付上奏

從五位 退職判事正六位勲六等 加藤信存

正六位 退職判事從六位勲六等 藤波鋏次郎

右多年高等官奉職勤勞不尠候：付

叙位進階内則第四條ニ依リ特旨ヲ

以テ位一階被進度謹テ奏ス

明治三十六年六月二十日

司法大臣男爵清浦奎吾



司法省